

1 単元について

(1) 単元名 Lesson 9 What would you like?

(2) 目標

- 欲しいものについて丁寧な表現で、積極的に尋ねたり答えたりしようとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 食べ物の名前や、欲しいものについて丁寧に尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
(外国語への慣れ親しみ)
- 日本と外国では、食べ物や食習慣に違いがあることに気付いている。

(3) 教材観

本単元は、世界の料理に興味をもち、欲しいものについての丁寧な表現を知ることと、ランチメニューをつくるための表現を使いながら、欲しいものを尋ねたり答えたりすることをねらいとしている。世界の料理やレストランでの会話を取り扱った内容は、児童の関心が高い題材であると考える。

本単元では、「**グルメフェスタを開こう。」という課題を設定し、**の特産品を扱ったメニューをグループで考え、レストランを開店するという活動を行う。児童は、社会科で**市の産業や食料生産について得た知識を活用し、課題に取り組むことができるかと推測される。また、活動の具体的な目的をもたせることで、自ら思考し、表現しようとするであろうと考える。さらに、地域の特産品を使ったメニューをグループの友達と協力しながら考案することで、自分の思いを伝え合う喜びも感じさせたい。

(4) ふり返り (CAN-DOリスト(ふり返り)の活用)

欲しいものについて、丁寧な表現で、積極的に尋ねたり答えたりしようとしている。ふり返りカードとCAN-DOリスト(ふり返り)の連動を図る。
(小・中学校を円滑に接続させるCAN-DOリストの活用)

(5) 児童の実態

本学級の児童は、明るく男女の仲が良い。調査の結果から、カルタやビンゴなどの聞くことを中心とした活動が楽しいと感じている児童より、インタビューゲームなどの会話を含むコミュニケーション活動が楽しいと感じている児童の方が少ないことが分かった。コミュニケーション活動が楽しくないと感じている児童は、その理由として、言い方が分からないことを挙げた。

そこで、本単元では、様々なゲームを通して、食べ物の言い方や丁寧な尋ね方に十分に慣れ親しませ、児童が自信をもってコミュニケーション活動に取り組めるようにする。本時では、ジェスチャーや表情の重要性にも気付かせたい。レストランでのやりとりをするコミュニケーション活動では、実際の場面に近付ける工夫を行い、児童が自然にコミュニケーションを図りたいと感じられるようにする。また、ふり返りカードを活用し、児童の意欲がさらに高まるようにしたい。これらの活動を通して、児童のコミュニケーションへの積極的な態度を育てたい。本単元の学習は、即興的なやりとりが見られたら称賛するなど、中学校への接続を意識した指導を行っていきたい。

(6) 指導計画 (4時間取り扱い)

時	本時の目標	学習活動・内容	評価の観点			方法	評価規準
			関	慣	気		おおむね達成
1	世界には様々な料理があることや食べ物の英語での言い方を知る。	・Let's chant. ・Activity 2 ・ビンゴゲーム ・ウイスパークゲーム		○	◎	テキスト ふり返り カード	英語と日本語の食べ物の言い方の違いや、世界には様々な料理があることに気付く。
2	丁寧な言い方で、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	・Let's listen 1 ・キーワードゲーム ・友達にフルーツパフェを作ろう。		◎	○	行動観察 ふり返り カード	丁寧な言い方で、欲しいものを尋ねたり答えたりする。
3	丁寧な言い方でやりとりを心がけながら、グループでおすすめメニューを作る。	・Let's listen 2 ・**の魅力が詰まったおすすめメニューを作ろう。 ・発表と会話の練習	◎	○		テキスト ふり返り カード	丁寧な言い方でやりとりを心がけながら、グループでおすすめメニューを作ろうとする。
④ 本時	欲しいものについて、丁寧な言い方で積極的に尋ねたり、答えたりする。	・Let's listen ・コマースタイムをしよう。 ・**グルメフェスタを開こう。	◎	○		行動観察 ふり返り カード	欲しいものについて、丁寧な言い方で積極的に尋ねたり、答えたりしようとする。

2 本時の授業

(1) 目標

欲しいものについて、丁寧な言い方で積極的に尋ねたり答えたりする。

(2) 準備・資料

Hi, friends!1, ワークシート, メニューシート, ピクチャーカード, パソコン, 大型テレビ

(3) 展開

☆は、努力を要する児童への手だて ◎は、道徳教育との関連

学習活動・内容	指導と評価	
	HRT	ALT
<p>1 あいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Hello, friends!を行う。 <p>2 ウォームアップをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 曜日, 月の歌を歌う。 • 日付と天気を言う。 • Let's chant!を行う。 <p>3 本時の学習課題を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>**グルメフェスタを開こう</p> </div> <p>4 本時の活動に取り組む。</p> <p>(1) Let's listen Specialを行う。</p> <p>(2) コマーシャルタイム行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 発表のポイントを確認する。 • グループごとに、前時に作ったオリジナルメニューを紹介する。 <p>(3) **グルメフェスタを開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 店員役の児童は、客役の児童からオーダーを取り、料理カードを渡す。 • 客役の児童は、様々なレストランを訪れ、各店のサインを集める。 • グループ内で店員と客の役割を交換しながら活動する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>店員: What would you like? 客: I'd like ~. /~, please. 店員: O.K. ~and~ ? (注文を繰り返す。) 客: Yes, please. 店員: Here you are. (料理カードを渡す。) 客: Thank you.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 明るく元気にあいさつし、雰囲気盛り上げる。 • Hello, friends!のモデルを示し、1分間で友達とあいさつを交わすことを告げる。 • できるだけ多くの児童とあいさつを交わすようにする。 • I'm fine.だけでなく、自分の気持ちを自由に表現してよいことを伝える。 • 日付, 曜日, 天気のカードを示し、視覚的に確認させながら、児童と一緒に楽しく歌う。 • デジタル教科書を操作する。 • 本時のめあてと活動の流れを確認させる。 • デジタル教科書を操作する。 • 児童の様子を見ながら、必要に応じて繰り返し音声を聴かせるようにする。 • Lesson5で学習した、分かりやすい話し方(声の大きさ, 話す速さ, 表情, ジェスチャー)を想起させ、それらを意識しながら話せるように助言する。 • 店員役と客役となって、表情やジェスチャーを使いながら活動のモデルを示す。 • 表現の練習を行い、活動の流れを確認する。 • 児童の様子を観察し、言い方が分からない児童や戸惑っている児童を支援する。また、男女問わずコミュニケーションが図れるように声かけをしたい。 <p>☆言い方が難しければ、表現にこだわらず、単語だけで表現してもよいことを伝える。</p> <p>◎グループで教え合い、協力しながら活動するように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて活動を止め、積極的に発話したり、ジェスチャーや表情をつけたりしている児童を紹介する。 • 児童の会話の中で、即興的なやりとりが見られたら、称賛し励ますようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>◎コミュニケーションへの関心・意欲・態度 欲しいものについて、丁寧な言い方で積極的に尋ねたり答えたりしようとする。[CAN-DOリストの活用]</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 児童と一緒に活動しながら、必要に応じて助言する。 • 歌の後に、日付, 曜日, 天気を確認しながら発音する。 • リズムを取りながら、チャンツを行うようにする。 • 教科書のLet's listen 2を、ALTとHRTで行うことを告げる。 • 児童を指名しながら答え合わせをする。 • ALTの出身地の特産品を取り入れたメニューを紹介することで、児童の意欲を喚起し、活動の具体的なイメージをもたせたい。
<p>5 本時の学習をふり返り、次時の学習内容を知る。[小・中の円滑な接続]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本時のふり返りをカードに書いて発表する。 <p>6 あいさつをする。</p> <p>Good bye. See you next time.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 振り返りの観点を示し、楽しかったことやがんばったことを記入するように助言する。 • 友達とのコミュニケーションについて書いている児童に発表させ、よい点を称賛する。 • 次時への意欲付けになるように、児童に称賛の言葉をかけながらあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 次時への意欲付けになるように、具体的に児童のよかった点を挙げて称賛する。 • 次時は、様々なゲームを通して、今まで学習した表現をふり返ることを告げる。